



## ゼロからはじめる病院のPDCA : 医療の質の見える化と改善

本橋隆子, 金沢奈津子編集. -- 医歯薬出版, 2017.  
ISBN : 9784263236956

REVIEWER

医学研究科 社会健康医学系専攻  
M1

### どうすれば 医療の質を よくできる？

「医療の質」と聞いて、あなたは何をイメージしますか？

目の前の患者さんの疾患を完ぺきに治すこと、ガイドラインがあること、医師や看護師がたくさんいること、…などなど、聞けば聞くほどに様々な答えが返ってくるのではないのでしょうか。たくさんの捉え方があるなかで、医療の質をよくするためには、私たちはどうしたらいいのでしょうか。

本書では「見える化」と「改善」、つまりPDCAサイクルに活路を見出しています。医療の質を見える化することで、客観的に現状を把握し、目標を設定できるため、改善ができるようになります。見える化には、ドナベディアン（※）が提唱した世界的に最も広く採用されている医療の質評価の枠組み「構造－過程－結果」をもとにした、医療の質の測定ツール（Clinical Indicator : CI、Quality Indicator : QI）を用いています（第1・2章）。次に1番のセールスポイントとなる第3章と第4章では、PDCAサイクルのまわし方を、データ例をもとに具体的に学び実践ができます。ここでは、CI / QIの目標値設定や目標達成計画の進め方を解説しています。ただし、実際にデータへアクセスできる方には、本書3章4章の通りにExcel等でデータの整理や分析を進めていくことができますが、データがない方は読むだけになるので、医療データに馴染みのない医療系の学生等にはイメージが持ちにくい可能性があります。ですので、本書は実際にさわることでできる仮想データセットが用意されているとさらに良かったと思われます。

（裏へ続きます）

498

163

Mo 83

医図開架

⇒⇒⇒

これらをふまえると、医療従事者や医療経営者・医療事務の方々は、データにふれながら、全章を読むと、医療の質の測定ツールの概要だけではなく実践的に改善へつなげることができると思います。また医療系学生は第1章と第2章を重点的に読むことで、漠然とイメージしている「医療の質」が今の臨床現場ではどのように「見える化」されて「改善」に結び付けられようとしているのかを知ることができます。これらを知っておくことで、将来に医療従事者となったとき、医療の質の内容や可視化の意義を再考することができるでしょう。

どうすれば医療の質をよくできるのか、そのヒントはこの本に！

※ドナベディアンが提唱した「医療の質」に関心を持った方は、ぜひこの本もご一読ください。

『医療の質の定義と評価方法 / Avedis Donabedian 著；東尚弘訳』

(医学図書館・医人健図書室にも所蔵があります)



受理：2017-12-25